令和七年度　本検査　学力検査　**国語　正解表**

問題番号		配点及び注意	計
一	(1)	正解	各2
	ウ		
	(2)		
	エ		
	(3)		
	エ		
二	(1)		各2
	きぬ		
	(2)		
	あわ		
	(3)		
	せいじゃく		
	(4)		
	とうほん		
三	(1)		各2
	困		
	(2)		
	授		
	(3)		
	航路		
	(4)		
	初志		
四	(1)		各3
	ウ		
	(2)		
	I		
	イ		
	II		
	オ		
	(3)		
	ア		
	(4)		
	ア		
	(5)		4
	ウ		
	(6)		3
	(a)		
	ア		
	(b)	同趣旨ならば正解とする。 部分点を与えてもよい。	4
	少しだけ頭をゆるめて感じるようにすることで、わたしだけの「!」をアートの表現の中に見いだす		
五	(1)		2
	③		
	(2)		各3
	ア		
	(3)		
	ウ		
	(4)		各4
	エ		
	(5)	⑸は完答とする。	
	I		
	イ		
	II		
	エ		
	(6)		3
	イ		
	(7)	同趣旨ならば正解とする。 部分点を与えてもよい。	4
	自分たちの感性を大切にして指導してくれる遠田を、とても信頼している		
六	(1)		3
	イ		
	(2)		2
	ゆえに		
	(3)		各3
	ウ		
	(4)		
	ア		
	(5)		各3
	(a)		
	イ		
	(b)		
	エ		
	(c)	同趣旨ならば正解とする。	3
	犯人の侍を許さないで、捕まえていたら		
七	解答例A	以下の観点を参考に、採点基準の細部については各学校で定める。 ○内容 ○行数・段落構成 ○表現・表記 ※全ての条件を満たしていない場合でも、部分点を与えてもよい。	12
	私はAを選ぶ。これはキツネの負け惜しみで、ぶどうが欲しくてたまらないのに、取れなかった悔しさを紛らわす気持ちだと思う。 私は部活動の三年生最後の県大会で、わずかの差で優勝を逃した。その悔しさを紛らわすため、「油断せず本気でやれば勝てた。」と自分に言い聞かせた。本当は悲しくて落ち込んだ自分を精一杯守ろうとしたのだ。この文章から、負け惜しみには、滑稽(けい)さに加え、心の調和を保つ効果も読み取れる。		
	解答例B		
	私はBだと思う。なぜなら、キツネはぶどうを取れず、食べられなかった残念な気持ちが強くて、あきらめきれずにいるからだ。 以前、私は楽しみだった家族旅行が、天候悪化のため中止となったときに、行けないことへの不満を持ち続けた。だが、今考えると、家族の安全を最優先した親の正しい判断だったと思う。そこで、この文章から読み取れることは、残念だった気持ちを抱えたままにせず、前向きに一歩進む大切さだ。		
	解答例C		
	キツネは、何の工夫もせずにあきらめるのが残念で、目の前のチャンスを逃したくない気持ちだったと思うので、私はCを選ぶ。 中学二年生の時、全国弁論大会への参加を先生から勧(すす)められた。自信がなかった私は、準備不足を理由に自分自身を納得させて辞退しようとした。しかし、再度、自分の本当の気持ちを考えて、やるだけやって結果を受け入れる選択をした。同様に、挑戦することの大切さが、この文章から読み取れる。		
合計			100